



特集

基本アプリケーション・サービスの活用について

前回、LGWANの基本アプリケーション・サービスについて概要等を紹介しましたが、今回はその中で、「LGWANメーリングリストサービス」及び「LGWAN掲示板サービス」について紹介するほか、地方公共団体組織ディレクトリサービス「LGPKI業務支援サービス」のメニューで提供している「LGWAN-Webアンケートサービス」の利用方法を紹介し、このアンケートシステムを適用した「登録分局自己点検システム」について説明します。

1 LGWANメーリングリストサービス

(1) メーリングリストとは

メーリングリスト（以下「ML」という）は、複数の人へ同時に電子メール（以下「メール」という）を配送する仕組みのことです。

通常、メールを複数の人へ送信する場合は、送付先を個々に指定します。

これに対し、MLでは、当該のMLのメールアドレスを一つ指定するだけで、そのMLにあらかじめ登録されているすべての人へメールを送信することができます。

また、受信したメールに返信すると、その返信メールもすべての登録者に送信されます。このような特徴から、複数の人々での意見交換や情報共有等を行う手段として利用されています。

MLの利用は、MLのメールアドレスにメールを送るだけで、通常のメールソフトから使用することができ、利用者側に新たにソフトウェアの導入の必要がなく、すぐに利用することができるのも魅力の一つです（図-1）。

(2) LGWANメーリングリストサービスについて

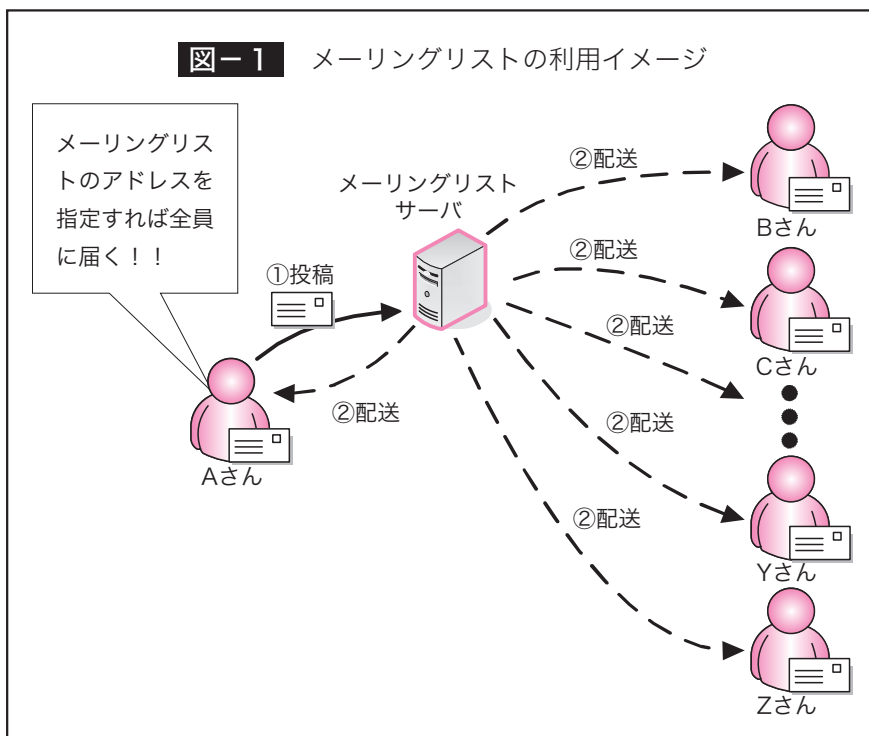
LGWANメーリングリストサービス（以下「MLサービス」という）の利用は、平成18年6月から開始されました。

① 特長

LGWAN参加団体（利用者）間の情報交換を目的としており、LGWANの利用者ならだれでも、申請によりLGWAN上でMLを容易に開設することができます。

LGWANを使用することにより、外部のインター

図-1 メーリングリストの利用イメージ



ネットと比較して、より安全な情報交換等が行えます。

②開設状況

開設されているMLは、平成20年4月8日現在33件です。多くは都道府県職員が管理者となって開設しており、市区町村職員が開設しているMLはまだ少数です（図－2）。サービス開始当初は、情報関連部署の管理者がほとんどでしたが、最近は他部門の方も増えています（図－3）。

③使用用途

次のような連絡事務や情報交換に利用されています。

- ・LGWANや公的個人認証サービス、住民基本台帳ネットワークシステムの運営に関する連絡・通知
- ・電子申請システム等共同運営に関連した、協議会等の特定組織における連絡・通知
- ・農林・土木・教育等、特定の行政事務における連絡・調整、情報交換等

また、MLの参加者は、次の組み合わせで構成される例が多くみられます。

- ・都道府県及び管内市区町村
- ・本庁と出先機関

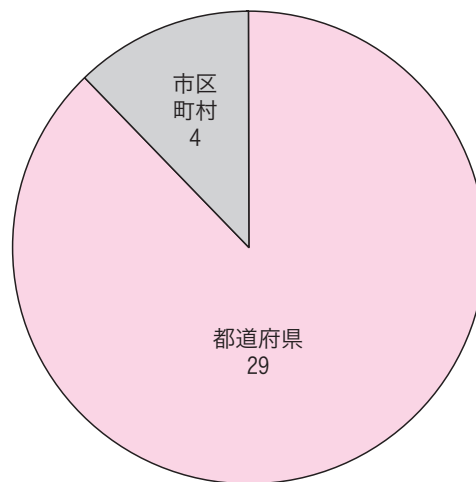
（3）MLサービスの利用方法

MLサービスの詳細な利用方法については、「LGWAN基本アプリケーション・サービス利用と運用の手引（一般利用者向け）LGWANメーリングリストサービス編」（<http://center.lgwan.jp/library/index.html#K-5-1-1>）を参照してください。

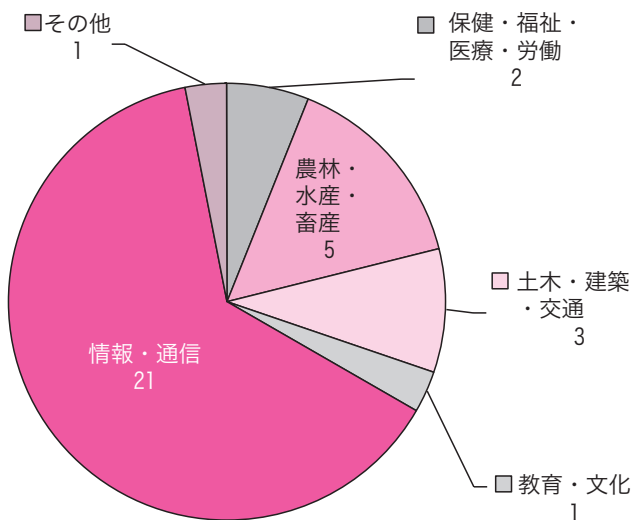
（4）MLサービス活用の提案

- ・部署をまたいだ業務横断プロジェクトにおけるメンバー間の相互連絡
- ・人事・総務部門等が発信する庁内報
- ・システム管理部門（広域及び庁内）等が発信するシステムメンテナンス等の告知

図－2 管理者の所属団体（ML）



図－3 管理者の所属部署（ML）



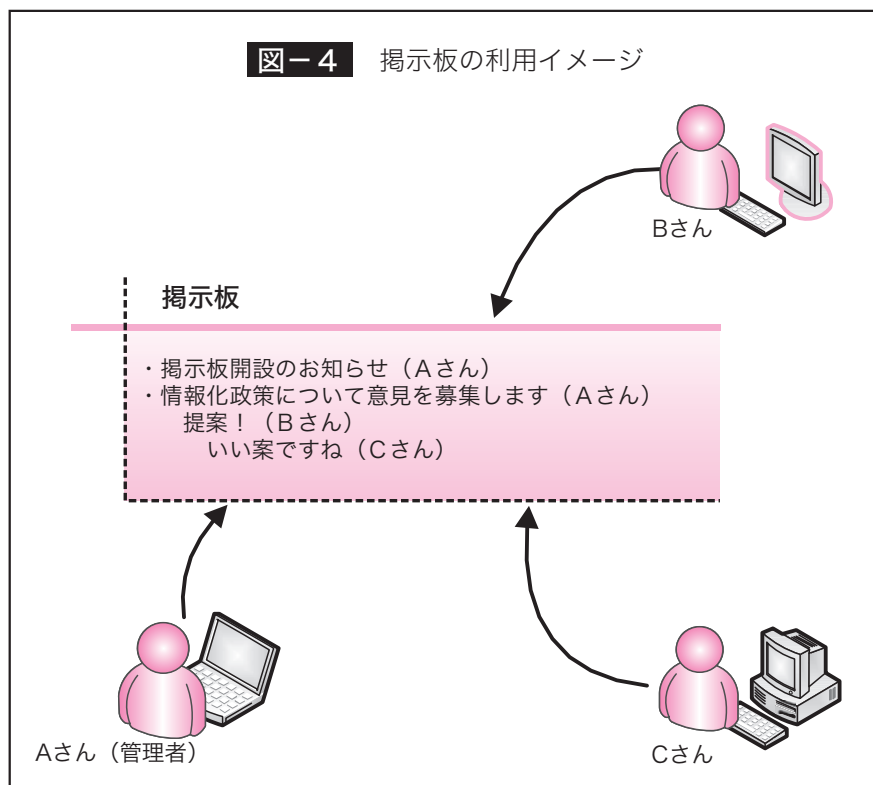
2 LGWAN掲示板サービス

（1）掲示板とは

掲示板（電子掲示板）は、伝言板のように自分の知らせたい情報を文字情報等で投稿及び閲覧する仕組みのことです。BBS (bulletin board system) とも呼ばれます。

テーマが設定された掲示板であれば、同じテーマについて、情報を投稿、返信及び閲覧することにより、複数の人と情報交換することが可能です。また、

図-4 掲示板の利用イメージ



意見照会や議論する場合にも優れたツールです。過去の情報は削除しない限り、参照することが可能です (図-4)。

(2) LGWAN 掲示板サービスについて

LGWAN 掲示板サービス (以下「掲示板サービス」という) の利用は、平成19年4月から開始されました。

①特長

LGWAN 参加団体 (利用者) 間の情報交換を目的としており、LGWAN の利用者ならだれでも、申請により LGWAN 上で掲示板を容易に開設することができます。LGWAN を使用することにより、外部のインターネットと比較して、より安全な情報交換等が行えます。

また、利用用途により、次のような掲示板の種類を設定することが可能です。

- ・「フリー」…だれでも閲覧・書込みが可能
- ・「オープン」…だれでも閲覧は可能だが、書込みは許可された参加者のみ
- ・「クローズ」…閲覧・書込みは許可された参加者

のみ可能

なお、本サービスは、専用のソフトウェアではなくブラウザから利用できます。

②開設状況

開設されている掲示板は平成20年4月8日現在16件です。多くは都道府県職員が管理者となって開設しており、市区町村職員が開設している掲示板はまだ少数です (図-5)。

サービス開始当初は、情報関連部署の管理者がほとんどでしたが、最近は他部門も増えています (図-6)。

③使用用途

次のような連絡事務や情報交換

に利用されています。

- ・電子申請システム等共同運営における、協議会等の特定組織における連絡・通知
- ・保健・土木・防災等、特定の行政事務における連絡・調整、情報交換等

また、掲示板の参加者は、次の組み合わせで構成される例が多くみられます。

- ・都道府県及び管内市区町村
- ・本庁と出先機関
- ・複数都道府県の同一業務担当者

(3) 掲示板サービスの利用方法

掲示板サービスの詳細な利用方法については、「LGWAN 基本アプリケーション・サービス利用と運用の手引 (一般利用者向け) LGWAN 掲示板サービス編」 (<http://center.lgwan.jp/library/index.html#K-5-1-1>) を参照してください。

(4) 掲示板サービス活用の提案

既存の資料を投稿する情報に添付することも可能なので、文書を管理することが可能です。また、閲覧の代わりに電子化された書類等を投稿すれば、情

図-5 管理者の所属団体（掲示板）

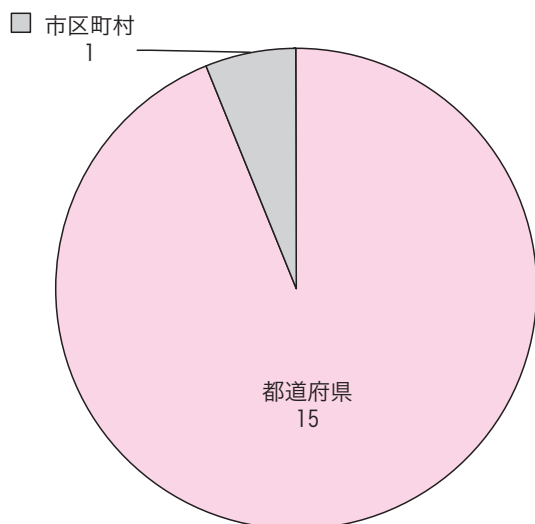
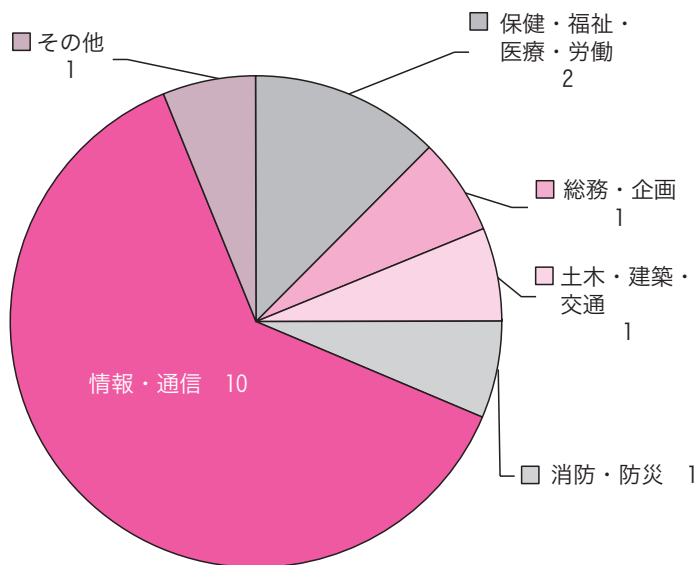


図-6 管理者の所属部署（掲示板）



報共有がスピーディに行えます。さらに職員研修や教育における活用、電子会議の開催等の活用が考えられます。

MLサービスも同様ですが、既にLGWANを利用する環境があれば、利用に際し新たな費用は発生しません。

いつでも利用を止めることは可能ですので、お気軽に利用してください。

3 LGWAN-Web アンケートサービス

(1) LGWAN-Web アンケートサービスとは

LGWAN-Web アンケートサービス（以下「アンケートサービス」という）は、アンケートを企画・実施する参加団体が、他の参加団体に対して行う場合に、LGWANのウェブ画面で簡易に効率的に実現するためのサービスです。

(2) アンケートサービスの特徴

アンケートサービスは、従来の郵送と紙による方法に比べて、低コストであり、しかも、自由度の高い調査が可能です。

アンケートサービスには、次のような特徴があります。

① アンケート実施の低コスト化

アンケートサービスの利用を申請する参加団体（以下「申請団体」という）は、新規のシステムを用意する必要はありません。

また、アンケート回答団体（以下「回答団体」という）においても特別な端末は必要ありません。

② セキュリティを確保したアンケート

回答団体のログイン認証にはPKI（公開鍵暗号基盤）を利用します。また、インターネット等の外部ネットワークとは隔離されたLGWAN上でアンケートを実施するため信頼性・機密性・安全性に優れています。

③ 自由度の高い調査票設計

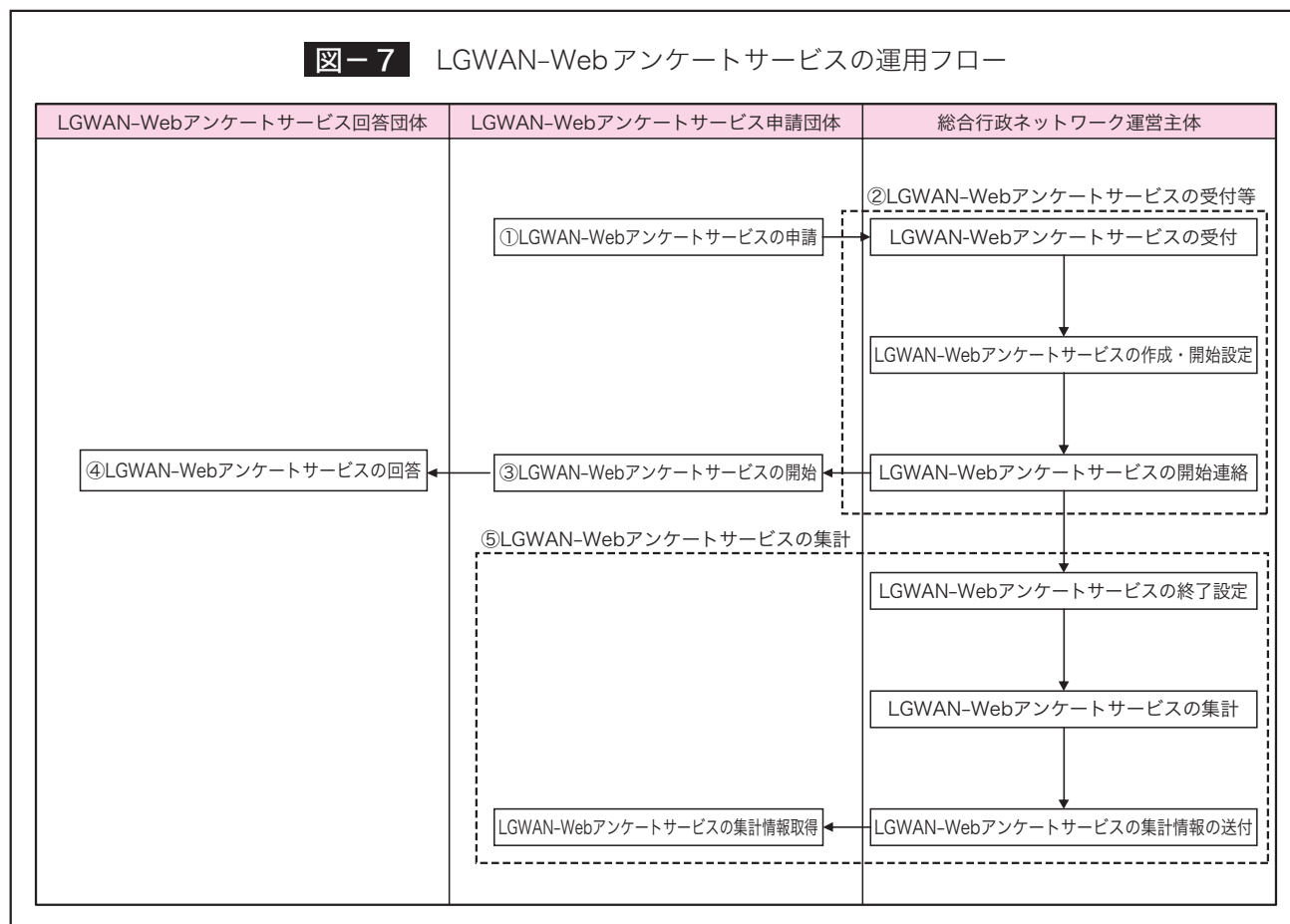
回答形式については、単一回答形式、複数回答形式及び自由記述回答形式の三つに対応しているため、自由度の高い調査が可能です。

(3) アンケートサービスの利用方法

アンケートサービスの運用フローは図-7のとおりです。

① アンケートサービスの申請

図-7 LGWAN-Web アンケートサービスの運用フロー



申請団体は、LGWAN-Web アンケートサービス申請書（以下「申請書」という）を総合行政ネットワーク運営主体（以下「運営主体」という）に提出する。

②アンケートサービスの受付等

運営主体は、申請書に特段の問題がない場合には、アンケートサービスの作成・開始設定を行い、申請団体に開始についての連絡を行う。

③アンケートサービスの開始

申請団体は、回答団体へアンケートサービスの開始連絡を行う。

④アンケートサービスの回答

回答団体は、アンケートの回答を行う。

⑤アンケートサービスの集計

アンケート期限終了後、運営主体は、アンケート

の終了設定、集計情報を申請団体へ送付する。

申請団体は、運営主体からLGWAN-Web アンケートサービスの集計情報を取得する。

4 アンケートサービスを利用した登録分局自己点検システムについて

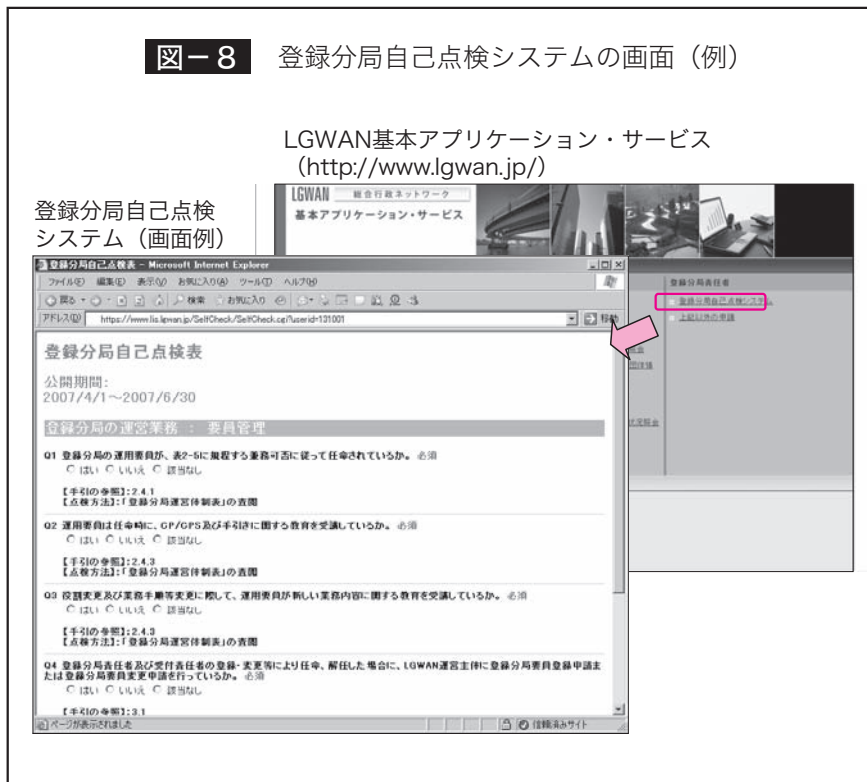
（1）登録分局自己点検システムの利用方法

次に、アンケートサービスを利用した登録分局自己点検システムについて紹介します。

地方公共団体における組織認証基盤（LGPKI）では、地方公共団体組織認証基盤の運営に関する基本綱領及びCP/CPSに基づく登録分局監査の一環として、登録分局※は自らの業務実績を1年に1度点検し、その結果をLGWAN運営主体に報告すること

※ LGWAN運営主体の担う業務のうち、登録局としての業務の一部を参加団体に委任しており、委任された業務を行うために参加団体が整備する体制のこと。

図－８ 登録分局自己点検システムの画面（例）



表－１ 回答種別について

回答種別	意味
はい	点検項目の業務が、設問どおりに実施されていた
いいえ	点検項目の業務の一部または全部が、設問どおりに実施されていなかった
該当なし	点検項目の業務は発生しなかった

としています。

登録分局自己点検システムはウェブブラウザで使用するシステムとなっており、登録分局責任者がLGWAN基本アプリケーションサービス（<http://www.lgwan.jp>）からログインして利用します。ログインには登録分局責任者のログイン用カードまたはログイン用データが必要です。

登録分局自己点検システムにログインすると、点検項目が画面に表示されます。画面に表示される各点検項目に対して登録分局の業務実績を「はい」「いいえ」「該当なし」から選択して回答します。すべての項目に回答後、「送信」ボタンを押すとLGWAN運営主体に回答内容が送られ、報告が完了

します（図－８、表－１）。

（２）報告の対象と頻度について

登録分局自己点検は、毎年４月から６月末までの間に、前年度の業務実績について点検し報告することとしています。平成20年度の登録分局自己点検は、平成19年度の登録分局の業務実績を対象に、平成20年４月から６月末までの間に実施することとなります。各登録分局においては、必ず期限までに実施してください。なお、点検項目は登録分局の業務内容に応じて年度により変更となることがあります。

（３）点検結果の取扱について

LGWAN運営主体では、各登録分局での点検結果に基づき、証憑書類の確認、ヒアリング等を実施します。監査を通して発見された問題点については、各登録分局に対し是正措置の依頼を行います。また、点検で「いいえ」と回答した項目については、各登録分局に

おいて、規程等の確認と業務内容の改善を行ってください。

（４）その他

登録分局自己点検システムの利用にあたっては、登録分局責任者の有効なログイン用カードまたはログイン用データが必要となります。

ログイン用カードまたはログイン用データの失効や有効期限切れ、あるいは発行を行っていない等といった場合、登録分局自己点検システムは利用できませんので、LGWAN運営主体へログイン用カードまたはログイン用データの発行申請手続きを行っていただきますよう、お願いします。



LGPKI 登録分局設置状況 (平成20年 5 月 7 日現在)

	都道府県	市区町村				都道府県	市区町村		
		登録分局 設置数 (A)	団体数 (B)	設置率 (A/B)			登録分局 設置数 (A)	団体数 (B)	設置率 (A/B)
1	北海道	149	180	82.8	25	滋賀県	21	26	80.8
2	青森県	39	40	97.5	26	京都府	22	26	84.6
3	岩手県	35	35	100.0	27	大阪府	39	43	90.7
4	宮城県	27	36	75.0	28	兵庫県	41	41	100.0
5	秋田県	23	25	92.0	29	奈良県	39	39	100.0
6	山形県	35	35	100.0	30	和歌山県	27	30	90.0
7	福島県	50	60	83.3	31	鳥取県	14	19	73.7
8	茨城県	44	44	100.0	32	島根県	17	21	81.0
9	栃木県	31	31	100.0	33	岡山県	27	27	100.0
10	群馬県	38	38	100.0	34	広島県	19	23	82.6
11	埼玉県	70	70	100.0	35	山口県	20	20	100.0
12	千葉県	56	56	100.0	36	徳島県	24	24	100.0
13	東京都	59	62	95.2	37	香川県	16	17	94.1
14	神奈川県	33	33	100.0	38	愛媛県	18	20	90.0
15	新潟県	22	31	71.0	39	高知県	34	34	100.0
16	富山県	15	15	100.0	40	福岡県	63	66	95.5
17	石川県	19	19	100.0	41	佐賀県	20	20	100.0
18	福井県	14	17	82.4	42	長崎県	23	23	100.0
19	山梨県	25	28	89.3	43	熊本県	35	48	72.9
20	長野県	73	81	90.1	44	大分県	18	18	100.0
21	岐阜県	38	42	90.5	45	宮崎県	25	30	83.3
22	静岡県	37	41	90.2	46	鹿児島県	42	46	91.3
23	愛知県	61	61	100.0	47	沖縄県	41	41	100.0
24	三重県	21	29	72.4	合計		1,659	1,811	91.6

LGWAN-ASP サービス接続／登録状況 (平成20年 5 月 7 日現在)

＜サービス提供者の分類＞

・アプリケーション及びコンテンツ	登録	166件	・ホスティング	接続	95件
・通信	登録	150件	・ファシリティ	登録	177件

※接続／登録済のLGWAN-ASPサービス提供者のリストは、下記URLに掲載しております。

<http://www.lasdec.nippon-net.ne.jp/cms/15,3403,41,133.html>